

残業減って副業増えて

新毎日

3月25日(月)

2019年(平成31年)



中古の業務用冷蔵庫を手直しする白鳥竹正さん。「仕事は生きがい」と、副業に意欲を示す=東京都立川市で、梅田啓祐撮影

4月から施行される働き方改革関連法に「残業時間の上限規制」が盛り込まれた。会社が長時間労働は正に取り組み一方、残業が減ることで生まれた時間を有意義に使うとする社員が増えそうだ。

改革のその先に

はたらく

「19時前退社ルール」

残業時間の上限は原則、月45時間かつ年360時間と規定されている。繁忙期でも月100時間未満かつ年720時間とし、違反した企業には罰則がある。大企業は4月から、中小企業は来年4月から適用だ。これに先んじる形で、多くの会社は改革の一連の取り組みを進めてきた。

損害保険大手「三井住友海

上火災保険」(東京都千代田区)は2017年4月から、全社員を対象とした「19時前退社ルール」を始めた。当日の終業予定時刻を書いた札を社員の卓上に置く。勤務状況が一目で分かるため、部下や同僚に対する指示や依頼の仕方が工夫され、残業時間が平均10%減った。

文句言わず働くロボ

人材育成や情報技術(IT)事業を手掛ける「FCEホールディングス」(新宿区)では、グループ会社の女性事務職が主導して業務の効率化を図ってきた。活用するのは、比較的単純な事務をコンピュータに記憶させて自動化するRP A(ロボット)による業務自動

化だ。パソコンに入れたロボットに、労務や経理、営業サポート業務に関する単純作業を教え込む。すると「ロボが何時間も、文句を言わず働いてくれる」(担当者)のだ。17年5月に始め、ウェブサイトから入手した必要な各種データを表計算ソフトで集計▽各方面から届く営業報告を一つにまとめる▽問い合わせメールへの返信―など、50以上の業務を自動化し、グループ全体で計5000時間以上の残業時間削減につながった。女性らは「RPA女子会」を組織して各社の取り組みを共有している。

や月初めは午後10時台まで会社に残る人が多かったが、今では資格を取るため学校に通う人も出てきた。安宅奈津子さん(35)は「会社としては残業手当を減らせるメリットがあるが、それ以上に生産性が格段に上がった。指示をこなすだけでなく主体的に取り組み業務が増えて、『働くのが楽しくなった』という声が増えるようになった」と言う。

スキル生かせれば

生み出された時間を使った「副業・兼業」を後押ししようという会社も出てきている。05年に定年制を廃止してシニアの積極雇用をうたう厨房機器販売大手「テンポスバスターズ」(大田区)。本業の傍ら、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を生かした副業に取り組み。グループ会社社長の品川絵美さん(39)は「人材育成やモチベーションの向上につなげたい」と話す。中古調理機器や業務用冷蔵庫が所狭しと並ぶ中、「自分のスキルを別のところで生かせるのはうれしい。良い意味で、企業の『働かせ方改革』といえる」と言うのは、立川市(立川市)のパート、白鳥竹正さん(72)だ。4年前に病気で第一線を退いたが、「適度に働きたい」と復帰。週4日出勤し、機器の修理や点検に汗を流す。もともとフェイスペインやツイッターはお手の物。副業として製品情報の発信に挑むつもりだ。3月、白鳥さんから副業希望者を対象にSNSの発信方法などを教える講座があった。ゆくゆくは副業をあっせんし、成果報酬として月3万54万円の給与を出す予定だ。「系列企業なので情報漏えいの懸念も少なく、損はない。若手もベテランも、自分の働き方に合わせて挑戦してほしい」。品川さんは強調する。

「副業・兼業」を後押ししようという会社も出てきている。05年に定年制を廃止してシニアの積極雇用をうたう厨房機器販売大手「テンポスバスターズ」(大田区)。本業の傍ら、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を生かした副業に取り組み。グループ会社社長の品川絵美さん(39)は「人材育成やモチベーションの向上につなげたい」と話す。中古調理機器や業務用冷蔵庫が所狭しと並ぶ中、「自分のスキルを別のところで生かせるのはうれしい。良い意味で、企業の『働かせ方改革』といえる」と言うのは、立川市(立川市)のパート、白鳥竹正さん(72)だ。4年前に病気で第一線を退いたが、「適度に働きたい」と復帰。週4日出勤し、機器の修理や点検

では、なぜ副業を始めたのか。目的は「収入補填」が男女とも最多。「スキルアップ」「現職の継続就業の不安解消」という回答も目立つ。1週間あたりの副業時間は平均10・32時間で、本業と合わせた総労働時間が「70時間以上」も1割。長時間労働の傾向も少なからず示されている。【矢澤秀範、梅田啓祐】 次回は4月1日掲載